

第48回日本ストーマ連絡協議会 議事録（案）

※敬称略

日時：2021年7月20日（火）17：30－18：00

場所：zoom開催

進行：ストーマ用品セーフティーネット連絡会 当番幹事 コロプラスト株式会社

議事：ストーマ用品セーフティーネット連絡会 副当番幹事 アルケア株式会社

参加：JSSCR－前田耕太郎、幸田圭史、靱山こずえ

JWOCM－田中秀子、紺家千津子、松原康美

JOA－木下静男

OAS－内藤寿真子、シディキ佐衣子（進行）、福元真一、伊藤琢磨（議事） 合計11名

1. 活動報告

1) JSSCRより

- 幸田：・現在JIS規格が規定しているストーマ用品に関する用語集は1970年代に穴澤貞夫先生などがまとめられたものだが、新たな用品も出てきているため改訂の必要がある。現在JSSCR用語委員会が中心となりプロジェクトとして改訂を実施している。ISOに準拠する形で変更を加え、国際的に通じる用語集とする。
- 靱山：・JOAから情報を頂いた「オストメイトの災害対策マニュアル作成の指針」（地域で作成する災害対策の指針）を災害対策13ブロックの代表に送り、各都道府県代表に送るよう依頼。各地域で内容確認し、JOAと共に地域での災害対策を進めるよう声掛けを行った。
 - ・JSSCR HP内災害対策ページについて現在修正を行っている。完了次第報告する。
- 前田：・コロナ禍において、現状、電話対応（通信機器）による診察においても保険請求できるようになっている。ストーマケアについても保険請求できるよう保険委員会から厚労省に申請している。JOAにも情報共有する。
- 松原：・JSSCRとJWOCMで2つの共同提案あり。①ストーマ合併症の処置に対する加算（65点）を申請している。聞き取り調査によると、合併症に介在する医療者の数・時間共に負担が大きく、加えて早期発見は緊急入院や手術回避に貢献できるため。②情報通信機器（電話・PC・タブレット・スマホ等）を用いた場合でも在宅療養指導料（170点）を請求できるよう申請している。
- 田中：・コロナで外来受診控えが問題になっているが、外来調査行ったところ、受診できない患者さんがFAXを使用して連絡してくる事が多い事が分かった。PCに不慣れでFAXしか使えない方がいらっしゃるのが原因だが、電話番号間違えてしまうと問題になる。

2) JWOCMより

- 田中：・7月3日（土）～5日（月）に第30回JWOCMが開催された（アジア9か国のET会議であるAPETNAについても合同開催）。東京大学の真田先生を会長として、WEBでの開催となった。最終的に日本人2,000人、海外500人弱が集まった。最新機器を使った研究発表もされており、有意義な内容であった。この度JWOCM理事長を退任したので新任を紹介する。
- 紺家：・田中理事長の後任として今後当該協議会に参加させていただく。現在、石川県立看護大学に勤務。過去金沢大学時代にはJOA副会長の山本悦秀先生と一緒に勤務させていただいていた。

3) JOAより

- 木下：・6月12日に定時社員総会が開催され、その後の臨時理事会にて、会長：木下（JOA千葉県支部）、副会長：川村（JOA岩手県支部）、もう一名の副会長：山本（JOA東京支部）の3役が決定・承認された。
 - ・先般の災害については、OASの連絡を受け静岡・鳥取・島根・鹿児島島の4支部に災害時の対応手引きを添付して連絡した。他のエリアから情報なし。

- ・ JOA第34回全国大会を2022年6月18日(土)～19日(日)に石川県にて開催を計画。
- ・ 2021年10月3日(日) ワールドオストミーデー時にJOA20/40が中心となってオンラインにて催事開催を計画。

4) OASより

- ｼﾞﾝ ｲ ｲ :
- ・ 7月1日から端を発した災害救助法適用の件の集計は8月10日を目途に集計を行うが、今のところアルケアにて1名適用された以外の対象者は不在。
 - ・ 前回会議でJSSCRから提案頂いた災害時対応の手引きの冊子増刷について、JSSCRからは合計で300部を増刷との事で指示頂いた。
 - ・ JWOCMについては、必要に応じてHPからダウンロード実施するため増刷は必要ないと聞いているがその通りでよいか。
- 田中 :
- ・ JSSCRは300部についてはどのように使用されるのか。
- 靱山 :
- ・ JSSCRの総会の際に、災害対策ブロック代表者会議を開催しており、各都道府県代表の方の参加のもと、災害について様々な企画を行っている。その際に、新しく入られた方々に資料として配布している。また被災された地域の販売店が無償提供の制度がある事を知らなかった事例があったので、周知徹底を図るために必要な時にJSSCRに対し必要部数を依頼するよう案内を行う。
- 田中 :
- ・ 以前、地域の代表者と連絡が繋がらない事や、うまく動いてくれない事があったと聞いた事があるが、現在は大丈夫か。
- 靱山 :
- ・ 現在は都道府県代表まで連絡網が出来上がり、こちらから定期的にメール送信を行っている。代表者が変更となった場合も連絡を頂ける。各地域の災害対策の進み具合は都道府県ごとに差はあるが、JSSCRから県の代表者に連絡をとって地域の現状を報告頂く活動は安定的にできるようになってきている。その際に、手引きの印刷物があった方が地域での活動がしやすいとの声があったので、OASへ印刷増版依頼をした。
 - ・ 過去の資料を確認したところ、相当数印刷されていたが、現在は在庫がない状況。前は相当広いエリアに配布したが、今後は新たに活動する方に使用する。各メーカーの方々にも地域で必要時配布できるよう準備頂きたい。印刷はどちらでされるか。
- 福元 :
- ・ ストーマボディを管理してもらっているモスアソシエイツ社で行う。
- 靱山 :
- ・ 同社でJSSCR災害対策リーフレットを保管してもらっており、一緒にJSSCR用として200部は同社に保管し、100部はJSSCR事務局に送ってほしい。各地域から要望があった際に事務局から発送する形をとる。今後手引きが必要な場合、ダウンロードする場合はHPから実施し、JWOCM・JSSCR共に印刷したものが欲しい場合、JSSCR事務局に請求する形で統一して頂ければと考える。
- 田中 :
- ・ 郵送費が相当かかるのではないか。
- 靱山 :
- ・ 災害対策委員会の経費で処理する。それほどかからないと考える。
- 田中 :
- ・ 以前は学会の時に会員に配布していたが、現在リアルで開催されておらず止まってしまった。
- 靱山 :
- ・ 学会で集まれていないので、必要な方は事務局に連絡するよう、都道府県代表に伝達していく。
- 内藤 :
- ・ 最終確認として、JWOCMは冊子が必要であればJSSCRを通して依頼するとの事で、JWOCM用にどこかに保管する必要はないという理解で良いか。
- 田中 :
- ・ その通りで結構。
- ｼﾞﾝ ｲ ｲ :
- ・ JOAの方はどうか。
- 木下 :
- ・ JOAでは冊子は不要。以前にも配布しており、何かあればメール等で送信している。
- ｼﾞﾝ ｲ ｲ :
- ・ 災害対策の手引きはJSSCR分の300部を増刷・手配を実施する。

2. 次回会合開催予定

2021年11月30日(火) 17:30～、WEB開催予定

以上